

## 2022年5月29日日曜礼拝メッセージ「火をもって答える神」長田牧師

ここまで黙示録にある、テアテラの教会への手紙を学んでいましたが、そこには素晴らしいクリスチャンがいたと同時に、偽預言者や、背後に働く霊的な敵の攻撃がありました。イエス様は私たちに警告を与えられて、必要な人は悔い改め、影響されないようにしなさいと命じられました。このことを理解するために、旧約聖書のアハブという王様とその妻イゼベル、そしてその時代に活躍した素晴らしい預言者であるエリヤの働きを見てみましょう。

### 1 祈りの祭壇を建て直す

神様は、父の心を持って私たちを愛し、抱きしめてくださる存在です。そして私たちも、その愛に気付く、そこから神様を愛し、礼拝し、私たちは愛されている存在なんだというアイデンティティをますます強められていきます。そのようなことを回復し、イエス様が来られるのに備えるのもエリヤの大切な働きであるというわけです。(マラキ 4:5-6, ルカ 1:17)問題はイエス様についていく人とそうでない人の二通りだったら分かり易いのですが、どっちつかずの人がいるということです。それは黙示録の時代も今の時代も一緒に、目を覚ましていなさい！とイエス様はおっしゃっているわけです。来週(6/5)がペンテコステですが、エリヤが主の火を祈り求めたように、私たちもこのような聖霊の火を求めていく必要があります。エリヤは中途半端なイスラエル人たちが神様に立ち戻っていくために、まず祭壇を立て直しました。(1列王記 18:30)祭壇は礼拝が捧げられる場所であり、全焼の生贄が捧げられる場所でした。私たちにイエス様がすでに生贄として屠られてくださり、全ての罪を赦し、癒しと解放を与えてくださいました。今度は私たちがそれに応答する番です。コロナ中にクリスチャンであっても礼拝の祭壇が崩れているかもしれません。礼拝が行っても行かなくてもいいようなものになっているとしたら、それは祭壇を築き直す必要があります。そして日曜日だけではなく毎日の祈りや QT の時間を立て直すということです。預言者エリヤは勇敢で恐れない人でした。しかし極端に憶病になったがありました。こういう時は敵が恐れを解き放っているときがあります。敵の働きに屈しないためには、私たちが敵のやり方と処方箋を知っておく必要があります。

### 2 敵の働きに屈しないために(敵の戦略) (1列王記 19:2,3,13-14)

- ① 脅しと恐れ 権威者や人の脅しの言葉によって恐れを生じさせようとする
- ② 死にたい気持ちや鬱 他人と比較させ、落ち込ませて働きを辞めさせようとする
- ③ 孤独、一人ぼっちと思わせる 自分だけが重荷を負っていると思わせ、孤立させる

### 3 神の処方箋 (1列王記 19:5,6, 黙示録 2:26)

- ① マナで養われて安息する 霊魂体すべての領域で安息をしっかりと取る
- ② あなたは一人ではない 神様が用意して下さっている助け手・仲間の存在に気付く
- ③ 与えられている権威を用いる イエスの御名の権威によって打ち破りを体験する

ロバート・モリス牧師も、最も大変だったのはイゼベルの霊との戦いだったと証しています。しかし霊的戦いに勝利した後、神様が必ず油注ぎを倍加するように増し加えてくださるのを体験しました。私たちも祈りの祭壇を立て直し、ペンテコステの後も何度も聖霊に満たされた弟子たちのように、ますます力強い聖霊様の火を受け取っていきましょう。(文責 HIROSHI)

# 2022年6月5日の週 「聖霊に励まされて前進し続ける」長田牧師

今日はペンテコステ礼拝です！

聖霊降臨の日であり、教会の誕生日でもあるペンテコステの日。イエス様の復活から50日、ギリシャ語では50のことをペンテコステルというが語源としてあります。期待して礼拝を捧げましょう。聖霊さまの新鮮な注ぎを求め、再び力と情熱が与えられますように。

※礼拝は10時と12時の2礼拝で行います。オーバーフロールームは地下の小礼拝堂をご案内しています。また地下のカフェの奥側は親子スペースとしてご利用いただけます。

### 1. 5月29日礼拝のご報告

先週の礼拝出席者数は158名でした。

### 2. 次回、洗礼式のお知らせ

6月19日(日)12時礼拝の後に洗礼式を行います。洗礼を希望されている方は事前の勉強会を行っていますのでスタッフまでお声かけください。

### 2. ヒーリングルームからお知らせです

ヒーリングルームでは、トライアルで9:15-から新たに癒しのお祈りの時間を設けることになりました。癒しの必要な方は9:15より前にライブラリ付近までお越しください。

### 3. ハイナイトのお知らせです

本日15時よりハイナイトを行います。

イスラエルの抱える問題や、迫害の歴史の中で深い傷を受けたユダヤ人の癒やしを祈ります。また、私たちの国、日本のためにも祈ります。共に、イスラエルと日本のことを覚え、祈りの時をもちましょう。どなたでもご参加できます。

### 4. NPO法人ライフパトンの年次総会を開催します。

6月12日(日)12時礼拝の後に、会堂で、NPO法人ライフパトンの年次総会を行います。昨年9月に発足し、今年度の活動報告、会計報告に加え、神様が働いてくださっている素晴らしい証もお伝えします。いつもライフパトンの働きに祈り、献金で支えてくださっている方、働きにご関心がある方はどなたでもご参加いただけます。

### 5. お祈り課題がある方はフォームよりお申込みください

教会員お一人おひとりのお祈り課題は、右のQRコードから受付しております。フォームよりお知らせください。



## 2022年6月5日 聖霊に励まされて前進し続ける

### 1 祝福と賛美と満たし

(ルカ 24:49~53) 「さあ、わたしは、わたしの父の約束してくださったものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。」それから、イエスは、彼らをベタニヤまで連れて行き、手を上げて祝福された。そして祝福しながら、彼らから離れて行かれた。彼らは、非常な喜びを抱いてエルサレムに帰り、いつも宮にいて神をほめたたえていた。

(イザヤ 32:15) しかし、ついには上から霊が私たちに注がれ、荒野が果樹園となり、果樹園が森とみなされるようになる。公正は荒野に宿り、義は果樹園に住む。義は平和をつくり出し、義はとこしえの平穏と信頼をもたらす。

(民数記 6:23~27) アロンとその子らに告げて言え。あなたがたはイスラエル人をこのように祝福して言いなさい。『主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』彼らがわたしの名でイスラエル人のために祈るなら、わたしは彼らを祝福しよう。

### 2 飢え渴き求める

(使徒 1:14) この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

(マタイ 5:3) 心の貧しい人は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。

(マタイ 5:6) 義に飢え渴く人は幸いです。その人たちは満ち足りるから。

(ヨハネ 7:37~38) さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って、大声で言われた。「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。」

(使徒 2:2~4) すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。また炎のような分かれた舌が現れて、ひとりひとりの上にとどまった。すると皆が聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話し出した。

### 3 祈りと礼拝のライフスタイル

(使徒 9:31) こうして教会は、ユダヤ、ガリラヤ、サマリヤの全地にわたり築き上げられて平安を保ち、主を畏れかしこみ、聖霊に励まされて前進し続けたので、信者の数が増えて行った。

(使徒 3:1) ペテロとヨハネは午後三時の祈りの時間に宮に上って行った。

(使徒 9:12) 立って、まっすぐ、という街路に行き、サウロというタルソ人をユダの家に尋ねなさい。そこで、彼は祈っています。

(使徒 10:1~4) さて、カイザリヤにコルネリオという人がいて、イタリヤ隊という部隊の百人隊長であった。彼は敬虔な人で、全家族とともに神を恐れかしこみ、ユダヤの人々に多くの施しをなし、いつも神に祈りをしていたが、ある日の午後三時ごろ、幻の中で、はっきりと神の御使いを見た。御使いは彼のところに来て、「コルネリオ。」と呼んだ。彼は、御使いを見つめていると、恐ろしくなって、「主よ。何でしょうか。」と答えた。すると御使いはこう言った。「あなたの祈りと施しは神の前に立ち上って、覚えられています。」

(ヤコブ 5:16~18) 義人の祈りは働くと、大きな力があります。エリヤは、私たちと同じような人でしたが、雨が降らないように熱心に祈ると、三年六か月の間、地に雨が降りませんでした。そして、再び祈ると、天は雨を降らせ、地はその実を实らせました。